

総務省主催
地域D X推進に向けたフォーラム



福井県のデジタル人材育成の取組

福井県 未来創造部
D X推進監（C D O） 前側 文仁

01 福井県DX推進の目的

素晴らしい暮らしや風景を後世に残す

6回連続 幸福度日本一

北陸新幹線



恐竜博物館



海の幸



東尋坊



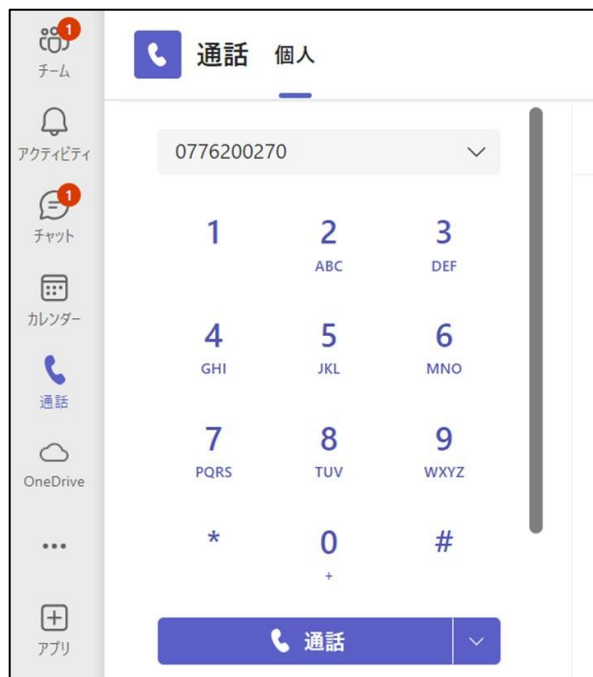
福井県の基本理念

(福井県長期ビジョン)

「安心のふくい」を未来につなぎ、
もっと挑戦！もっとおもしろく！

誰もが夢や希望をもって
自分らしくチャレンジ

02 福井県庁の日常業務風景

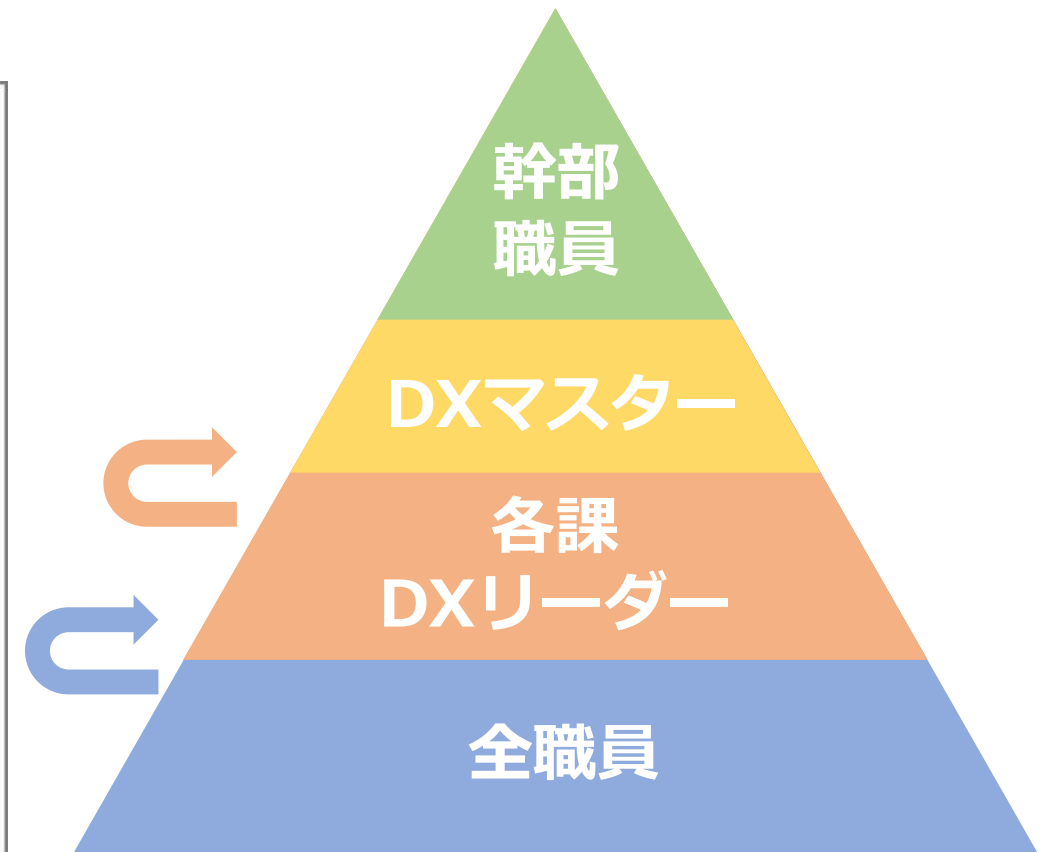


電話もTeams



03 デジタル人材育成方針

必要な「人材像」「スキル」を育成方針として策定
階層別の研修プログラムを準備



04 DX推進人材の定義

役割区分	役職	必要な要件	スキルマップ
推進マネジメント層： 各所属のDX推進の責任者（意思決定権者）として、デジタル技術等を活用した事業推進の監理、DX推進目標の策定、体制構築および人材の適切な配置育成を行う。	管理職 ・課長級 ・参事級 等	・戦略 ・組織運営	i リーダーシップ ii 人材育成 iii 組織文化の変革 iv インシデント管理
プロジェクトリーダー層： デジタル技術等を活用した牽引役として事業推進を行う。	主任 以上 ・総括補佐級 ・課長補佐級	・プロジェクト運営 ・専門スキル	i プロジェクトマネジメント ii DX実践知識 （UI/UXデザイン、データ分析、クラウド、IoT、AI、ネットワーク、内製化、デジタルマーケティング等） iii DX推進ノウハウ
DXリーダー： 各所属のDX推進目標遂行に向けた支援を行う（そのための高度な知識・技術習得、伴走・実践を含む）。	一般職員 ・主査級 ・一般職員 等	・リテラシー ・知識	i DX基礎知識 （デジタル技術、データ利活用、デザイン思考） ii 業務改善 iii システム開発・運営 （アジャイル開発・IT調達等） iv EBPM
一般職員： 必要となるマインド、知識・リテラシーをもって、実務への参画・遂行を行う。		・マインド ・デジタル体験	i DX推進マインド ii 実務活用例 iii 情報セキュリティ・コンプライアンス iv ハンズオン型実践

05 DX 関連研修

役割区分	役職	必須研修		お勧め研修
推進マネジメント層：	管理職 ・課長級 ・参事級 等	DX推進研修		ICT改革
		人と組織の改革		情報セキュリティ研修
		インシデント管理		DXゲートウェイ研修
プロジェクトリーダー層：	主任 以上	DX推進研修		情報セキュリティ研修
		ICT改革		DXゲートウェイ研修
DXリーダー： <				

06 推進体制の整備

各課実務の業務改善・価値創造を推進する DXリーダーを選出

DXリーダー

- 全所属から若手職員中心に選定
- 職場の課題解決は伴走型で支援



DXリーダー研修

“Lss” 共通ルールとは？

- 県職員なら誰でもやる業務（スケジュール管理、連絡、照会業務 etc）担当課・担当者ごとに『バラバラ』になっています。
- これを最も効率的なやり方に、全庁的で統一するルールを定めたもの。
- 共通ルールは、“Lss”若手PTが中心となり、知事との意見交換会、政策参事会、地区別ワークショップなど、約100名の声を集め昨年11月に作成しました。



若手職員中心の働き方改革PT 「LSS業務共通ルール」



- 業務共通ルールに基づく業務効率化推進
- 全庁各課でDX取組目標を設定（1所属1取組）
- RPA・ローコード等、業務見直しを実践

- 1 意思決定は、「早く決め、早く実行」
（実行が大切。そして、実行した結果から学ぶ）
- 2 予定管理は、共通アプリで
（いつでも、どこでも、誰でも「見える化」）
- 3 連絡は、電話よりも文字・映像で
（電話は減らす。電話は相手や取り次ぐ人の時間を奪う）
- 4 庁内照会の発注・集計は、より手軽に
（庁内の取りまとめ作業に時間をかけない）
- 5 庁内のルールは、みんなで共有
（庁内通知、各種規程等の検索に時間をかけない）

研修受講状況をダッシュボード化し公開

②所属単位での可視化

※画像はイメージです。

※画像はイメージです。

08 研修コンテンツなど

県のコンテンツを市町へも共有

研修コンテンツ

DX推進研修公開サイト（市町）

研修検索

検索

DX推進研修（1／4）

対象：推進マネジメント層
必須・選択区分
必須
公開日
2023-04-11
概要
DXの必要性や特質を理解・納得し、日々の業務での実践に向け

DX推進研修（2／4）

対象：推進マネジメント層
必須・選択区分
必須
公開日
2023-04-11
概要
DXの必要性や特質を理解・納得し、日々の業務での実践に向け

DX推進研修（3／4）

対象：推進マネジメント層
必須・選択区分
必須
公開日
2023-04-11
概要
DXの必要性や特質を理解・納得し、日々の業務での実践に向け

DX推進研修（1／4）

受講完了報告はこちら
<https://forms.office.com/r/NAbaYmX6v2>

20 社会一般におけるDXとは？

デジタル技術が活用され、
社会・産業・生活が大きく変わること

変態（もとの姿形が残らない程に）

amazon

ネット販売
（無店舗・少量多品種・世界市場）

電子決済
PAY

業務改善ブートキャンプ

職員がチームを組み、業務課題・解決策を整理
課題解決アプリを短期間で作成（システム内製を体験）



09 Teamsでの連携によるDX推進

市町の方とも外部共有チームでコラボレーション

DX推進チーム

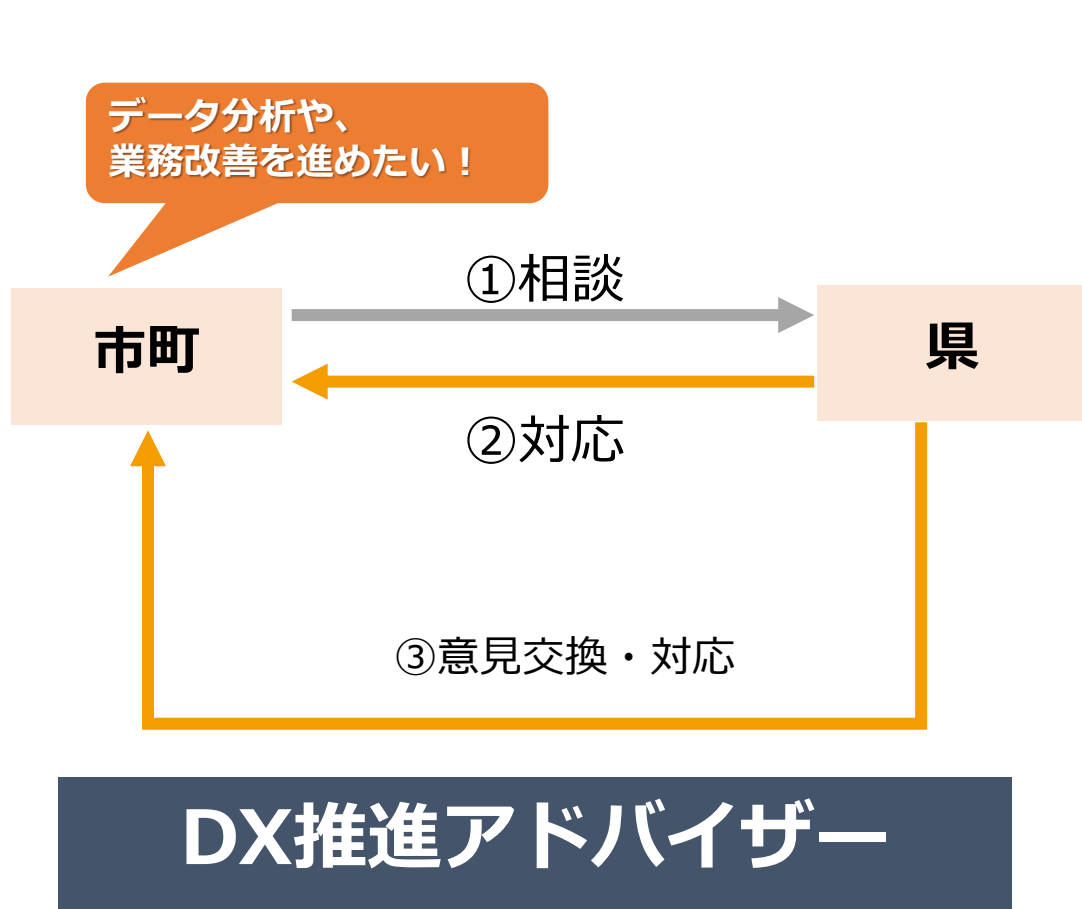


外部共有チームを作ってコラボレーション



10 専門人材による伴走支援

県職員に加え、民間専門人材も相談対応・事業検討支援



人材育成



官民共創
市町支援



アジャイル開発



ITスキル向上



データ
サイエンス



DX推進体勢構築



データ
サイエンス



データ活用

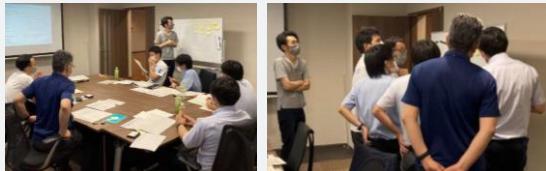
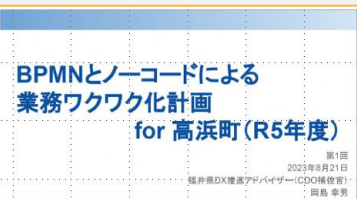


11

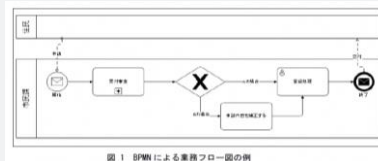
(参考) 伴走型支援の実例：業務改革

高浜町の特徴を活かした研修とするため、 アドバイザーと試行錯誤しながら一緒に取り組み

在りたい姿を描く (ToBe・課題設定)



業務プロセス 見える化



BPMN

(ビジネスプロセスモデリング表記法)

省力化 デジタル化



ノーコード 開発ツール

検証

課題設定に戻り 改善継続!!



R 4 年度

- ・ 8 名参加
- ・ 6 回実施

R 5 年度 (追加)

- ・ **14 名**参加
- ・ 6 回実施

皆で議論 (ホワイトボード等活用)

結果振り返り

異文化経験の学習

- 外部講師・民間企業との共同作業
- 挑戦奨励・失敗前提でTRY & LEARN繰返し
- 部署を超えたメンバーとのグループ作業
- 結果がすぐ見えるノーコードツールを活用

12 課題解決ハッカソン



市町の課題解決ハッカソン2024

「空き家の利活用」、「市民の声を政策に反映」など市町が抱えるの課題解決に向けたハッカソンを実施

サービス名：レッパンダッ！

課題

- ・ 市民が主体となり、社会課題への解決策を自ら提案し実行する文化の促進
- ・ 誰も取り残さない「全員主役」で、今まで

アイデア

- ・ LINE で友達登録し、毎日4つの質問に答
- ・ 課題に意思表示するプラットフォーム
- ・ 集計された回答内容はオープンデータとし

発表スライド一部抜粋



サービス名：ことひろ

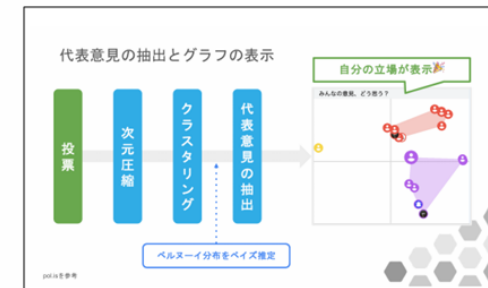
課題

- ・ 市民の参加・協働のハードルを下げ市民が市へ提案し実行する文化を促進
- ・ 一般的なパブリックコメントでは、利用者が少なく民意の反映が困難

アイデア

- ・ 多種多様な意見や言葉を重ねて、よりよい意思決定を促すサービス（投稿、投稿へコメント、意見に対しての立場表明）
- ・ 集まった意見をグルーピングしてAIで代表意見の抽出・グラフ化が可能

発表スライド一部抜粋



13 市町テレワーク：検証中

行財政改革 アクションプラン2024

～ チームふくいの行政運営を強化 ～

【方針2】市町協働を深化し、地域の未来づくりをバックアップ

県と市町の相互連携を促進する勤務環境づくり

- ・県・市町の職員が共通のチャットツールを活用し、相互の情報交流を強化します。
- ・行政の現場に近い市町の職場で、県職員がテレワーク等を行いながら、共通する地域課題の解決に向けて市町職員と一緒に仕事ができる勤務制度を検討します。

【方針6】

場所や時間、既成概念にとらわれない次世代の働き方改革を徹底実行

共創スペースを拡大し、場所に縛られない働き方を推進

○通勤を前提としない働き方（ハイブリッドワーク）の推奨

- ・配席数を調整し、普段から職場の一定数がテレワークを行う勤務体制の定着を図ります。
- ・電子決裁の対象業務を拡大し、仕事の質や内容に応じて柔軟にテレワークと職場を使い分ける働き方（ハイブリッドワーク）を推奨します。

時間や場所にとらわれない働き方
（フレキシブルワーク）





みずから・みんなで・ふくいを**カエル**
オタマジャクシからカエルに**変態** (Transformation)
未来へ大きく**蛙飛び**